

開館時間：10時～18時
(中央館は火～金：20時)
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
(分館は国民の祝日・休日)

としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118 (三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066 (大江分館) TEL・FAX 56-1017

は葉

を落とす「落葉樹」が公園や道沿いに植えられているのはなぜでしょう。日差しが強い季節にはしげった葉が涼しい木陰を作り、寒い季節には葉が落ち日光を通して暖かくする働きがあるのだそうです。季節ごとに木の姿が変化するのも魅力です。



が 10月27日から
に 11月9日は
どくしょ しゅうかん
読書週間



ことし ひょうご さくしゃ ふじむらのがこ ことば
今年の標語の作者 藤村伸子さんの言葉



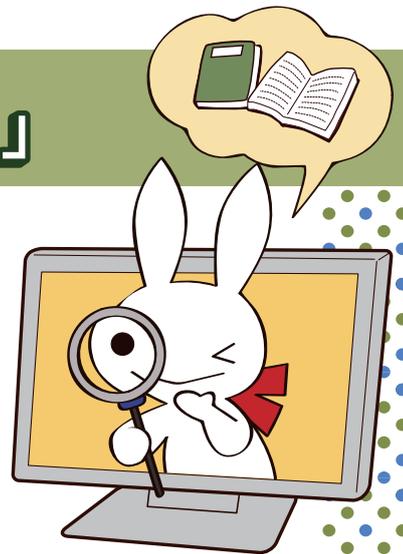
しおりがなかなか進まない本もあれば、一気に読んでしまう本もあり。読み終えればどちらも、充実感や感動を得ることができます。これからも心に残る物語との出会いを求めて、私のペースで読書を楽しみたいと思います。

どくしょすいしんうんどうきょうぎかい
読書推進運動協議会ホームページ より

としょかん
図書館
まめちしき

本を探す「OPAC」

図書館の本(蔵書)をパソコンなどの機械で探せるしくみ。読み方は、「オパック」または「オーパック」といいます。図書館の本の情報が入っていて、言葉で検索します。図書館に行かなくても、インターネットでパソコン、タブレット、スマホを使って探せる「webOPAC」(ウェブオーパック)もあります。



こんかい
今回のテーマ

いろ
色づく 秋

あき むか きぎ は おし
秋を迎えた木々や、葉っぱが教えてくれる
ものがたり よ
物語を読んでみませんか。



『おちばのほん』

(いわさ ゆうこ / 著, 文一総合出版)



あき かぜ ま お お
秋。風に舞ったり、落ちている葉っぱを「きれいだな」と、
て と 手にとったことはありませんか？ めぐる 季節にあわせて、
さまざま は おちば 様々な葉っぱが落ち葉になっていきます。落ち葉になった
そのあとはどうなるのでしょうか？

123種類もの「おちば」が楽しめる絵本です。



もり
『森のポストをあけてごらん』

(やまなか まりこ / 作, ポプラ社)

はいたつじん むら もり いち
配達員のがくさんが、すもも村・森の一
ばんち にもつ い
番地へ荷物をとどけに行くと、ふしぎな
おんな こ あんない おんな こ
女の子が案内してくれました。女の子は
は てがみ よ
葉っぱの手紙を読んだり、
もり き はな
森の木と話したりします。
その女の子が「秋になった
らわかる」と教えてくれた、
もり おし
森のポストのひみつとは…。



き
『キャラメルの木のみみつ』

(くまがい ちせこ / 作, 文研出版)

えな のこ
絵菜のおばあちゃん「うめこさん」が残
してくれたキャラメルきの木。ハート型の葉
っぱがかわいくて、秋になると甘い香りを
はな せいぜん
放つ。生前のうめこさんは
ひと ひと むす き い
“人と人を結ぶ木”だと言
っていた。2本のキャラメ
ルきの木をめぐる人々の、
やさ ひとつと
優しさがつまった物語。



児童おすすめの本



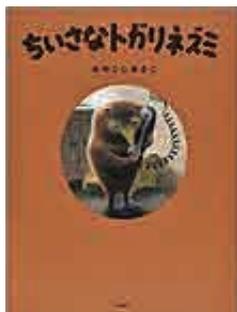
『魔女のなみだのクッキー』



くさの あきこ / 作, PHP 研究所

やさしいおばあちゃんが^{だい}大すきなリコ。でもお店をはじめていそがしくなったおばあちゃんと、ずっといっしょにいられなくなったリコはさみしくてしょんぼり顔。そこへあらわれた^{まじよ}魔女が、なみだのクッキーをわたしてリコにいったこととは？

『ちいさなトガリネズミ』



(みやこし あきこ / 作, 偕成社)

はたらきもののトガリネズミの1日は、きまった^{にち}予定を時間どおりにこなしていきます。でも、きょうは、ひとついいことがありました。それは…。3つの^{みじか}短い^{はなし}お話が、1冊につまっています。かわいいトガリネズミのくらしをそっとのぞいてみませんか。

『ガリレオ vs. メタルの魔術師』



ひがしの けいご / 著, 文藝春秋

“ガリレオ”こと湯川助教授が事件を^{ゆかわじよきよじゆ}解明するシリーズの^{じけん}短編集です。^{かがく}科学と^{ひと}人の^{こころ}心の^{りようめん}両面から^{しんそう}真相に近づいていくガリレオ。一見^{たんべんしゆう}無関係に見えて^{いっけんむかんけい}きこえる出来事が、^{じけん}事件に関わる人々の^{かか}心の^{ひとびと}内を^{こころ}明らかにしていきます。一筋縄では^{うち}いかな^{あき}ない^{ほんにん}犯人の本心とは…。

『ようこそ！虫のぬけがら博覧会』



もりうえ のぶお / 写真・文, 少年写真新聞社

どの^{こんちゆう}昆虫も^{だっぴ}脱皮して、^{かなら}必ず^{のこ}ぬけがらを^{のこ}残します。トンボに^{せみ}セミ、^{たがめ}タガメ、イモムシ、^{かまきり}カマキリ、^{ちゆう}チョウなど^{さまざま}様々な^{こんちゆう}昆虫の^{ぬけがら}ぬけがらを^{しょうかい}紹介。脱皮の様子や^{だっぴ}ぬけがらの^{ようす}集め方、^{あつ}保管^{かた}方法^{ほかんほうほう}なども^{わかりやす}わかりやすくて^{のって}います。自然の中へ^{しぜん}ぬけがら^{なが}探し^{さが}に行きたくなるかも。

ティーンズ ^{ほん}おすすめの本



『いつか君に出会ってほしい本』



たむら あや ちょ かわでしょほうしんしゃ
(田村 文 / 著, 河出書房新社)

いっさつ ほん であ じんせい か みじか ちから
一冊の本との出会いが人生を変えること、短いフレーズから力をもらえることもある。言葉を仕事にする文芸記者から、中学生のあなたに出会ってほしい本158冊を紹介します。

『現代語で読む生まれ出づる悩み』



ありしま たけお さく たかぎ としみつ げんだいごやく りろんしゃ
(有島 武郎 / 作, 高木 敏光 / 現代語訳, 理論社)

ゆめ 夢をあきらめられず、せいかつ なか くのうち せいねん おも えが たいしょう
時代を生きた小説家 有島武郎の時代を超える名作を、現代の言葉で読んでみませんか。

『教室を生きのびる政治学』



おかだ けんじ ちょ しょうぶんしゃ
(岡田 憲治 / 著, 晶文社)

きょうしつ なか がっこう しゃかい
教室の中も学校もひとつの社会。そこを、どう生き抜くか…！
モヤモヤすることはたくさんある。そこで、「こんな かんが かつ
ろう」と提案する一冊。

『手で見るぼくの世界は』



かしざき あかね さく しゅつぽん
(榎崎 茜 / 作, くもん出版)

しかくしえんがっこう かよ ちゅうがくいちねんせい たすく ふたば ふたり じけん
視覚支援学校に通う中学一年生の佑と双葉。二人はある事件をきっかけに世間を信じる気持ちを閉ざしてしまう。
かぞく ともだち しえんしゃ とも かっとう の こ ふたた じぶん せかい しん あゆみ
家族や友達、支援者と共に葛藤を乗り越え、再び自分と世界を信じて歩みだすまでを描いた物語。